

2025 年 7 月 16 日

2025 年度第 2 四半期決算

バンク・オブ・アメリカは、2025 年度第 2 四半期決算を発表しました。

第 2 四半期業績【参考訳文(要旨)】

- 当期純利益は、前年同期における 69 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.83 ドル)に対し、71 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.89 ドル)となりました。
- 収益(支払利息控除後)は、純受取利息、販売及びトレーディング収益並びに資産管理手数料の増加と投資銀行事業手数料の減少を反映し、4%増加して 265 億ドル(FTE ベースで 266 億ドル)となりました。
 - 純受取利息は、7%増加して、147 億ドル(FTE ベースで 148 億ドル)となりました。これは、固定利付資産の金利更改、グローバル・マーケット事業に関連する純受取利息の増加並びに預金及び貸出金の増加が、金利低下の影響により一部減殺されたことに起因します。
 - 4 四半期連続で純受取利息が増加しました。
- 貸倒引当金繰入額は、2024 年度第 2 四半期及び 2025 年度第 1 四半期の 15 億ドルから増加して、16 億ドルとなりました。
 - 貸倒償却(純額)は、2024 年度第 2 四半期及び 2025 年度第 1 四半期から横ばいで、15 億ドルとなりました。
- 非金利費用は、収益に関連する費用並びに人材、ブランド及び技術への投資の増加に起因し、5%増加して 172 億ドルとなりました。
 - 主として第 1 四半期における給与税金費用の季節的増加がなくなったことにより、2025 年度第 1 四半期から 587 百万ドル減少しました。
- バランスシートは引続き堅調
 - 平均預金残高は、3%増加して 1.97 兆ドルとなり、8 四半期連続の増加となりました。
 - 平均貸出金及びリース金融残高は、全事業セグメントで増加したため、7%増加して 1.13 兆ドルとなりました。
 - 平均グローバル流動資金は、9,380 億ドルとなりました。

- 普通株式等 Tier1(CET1)資本は、2025 年度第 1 四半期から横ばいで、2,010 億ドルとなりました。
- CET1 比率は、11.5%(標準的アプローチ)となり、最低所要自己資本比率を大きく上回りました。
- 20 億ドルの普通株式配当及び 53 億ドルの株式の買戻しにより株主に対して 73 億ドルを還元し、また 2025 年度第 3 四半期から四半期普通株式配当を 8%増額する計画を発表しました。
- 普通株式 1 株当たり純資産は、8%増加して 37.13 ドルとなりました。普通株式 1 株当たり有形純資産は、9%増加して 27.71 ドルとなりました。
- 平均普通株主持分利益率は、10.0%となりました。平均有形普通株主持分利益率は、13.4%となりました。

プレスリリース原文および注記は[こちら](#)をご参照ください。

※特に注記のない限り、記載されている比較(%)は前年同期比、また貸出金および預金残高は平均して表示しています。